

議会だより すそ野



12月5日、西中学校の公民の授業で行われた「裾野市への提言」で生徒たちへの助言をしつつ、一緒に政策を協議しました。



題字制作

裾野高校 3年
中野雛さん



主な内容

13人が一般質問で市政を問う
議員研修会

12月定例会 No.138

令和2年2月1日

発行：裾野市議会

2億8,500万円の増額

補正予算

総務分科会

財政調整基金の運用益(財政課)

問 財政調整基金利子、246万8千円減額の理由は。

答 消費税増税などに伴い、上半期に支払いが集中したため、財政調整基金の繰り替え運用^(※1)で対応したことによる。このため、当初運用に見込んでいた元金の額の減少と運用期間が短期間となり、基金運用利子の減額となった。

時間外手当(人事課)

問 時間外手当の増額の理由は。

答 オリンピック・パラリンピック事務、災害対応事務など、一時的な事務量増加が原因であると考えている。時間外縮減対策は、引き続き取り組んでいく。

土砂災害・洪水ハザードマップ(危機管理課)

問 土砂災害・洪水ハザードマップ作製委託費220万円の詳細とその必要性は。

答 ハザードマップの冊子版を増刷し、各区の自主防災会に配付するもの。全国的な災害発生状況から、地域における防災力をより高める必要があり、その一助となることを期待している。



厚生文教分科会

教科指導書の選定(学校教育課)

問 指導書の選定の方法は。また、冊数の根拠は。

答 教科書は沼津駿東地区で採択され、それを基に指導書が決まる。主要教科とその他教科に分け、各学級担任と学年に配付する計画である。

西中学校の教室不足を解消するための事業の状況(教育総務課)

問 西中学校の生徒増により、普通教室が不足するが、対応策は。

答 令和3年から生じる教室の不足の対応として中庭に仮設教室を建設する。校舍耐用年数の目安とされる60年までの残り13年に耐用できる仕様とする。

御宿台保育園指定管理委託料の増額(保育課)

問 指定管理委託料の増額の要因は。

答 公定価格^(※2)改正分であり、ほとんどは処遇改善加算分である。

産業建設分科会

スポーツツーリズム推進協議会の運営(産業振興課)

問 裾野市スポーツツーリズム推進協議会の事務局は産業振興課だが、交付金などを取り扱う部署として適切と言えるか。

答 協議会は平成30年3月に設立されたが、組織自体が立ち上がったばかりなので支援をしている。今後自立した組織となるよう基盤づくりをしていく。

(※1) 財政調整基金の繰り替え運用とは…財政上特に必要があると認められる場合、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用すること。
(※2) 公定価格とは…国が定める保育に要する費用の額。

その他議案のチェック!

駅西土地区画整理事業の進捗 (区画整理課)

問 入札で生じた差額などの3,000万円を補償費に充てるということだが、工事進捗に対する影響はあるか。

答 影響はないと考えている。

台風19号の災害復旧 (建設課)(農林振興課)

問 入田川の復旧工事は、原状へ戻すだけの復旧か。また、今後に備え、河川の流量や河川形状変更などの対策を復旧工事と合わせて行うことは可能か。

答 基本的に原状回復を考えている。川底には根固め工法^(※3)を用いる。



問 林道北箱根山線の一部が崩れた主な原因は。

答 盛り土部分であって、沢に面していたためと思われる。

その他議案

市議会議員、特別職の期末手当 月数(0.05月)引き上げ(人事課)

問 人事院勧告を勘案しての引き上げとのことだが、どのような協議があったのか。また、本年度実施を予定している県内他市の状況は。

答 期末手当は、特別職報酬等審議会の審議対象ではなく、人事院勧告を一つの根拠とし、引き上げる時期などについて協議した。県内他市の状況は、市議会議員は23市のうち18市、特別職は21市が人事院勧告を根拠として、引き上げを予定している。

運動公園総合体育施設の利用 時間などの見直し(生涯学習課)

問 改正によって、現在の第3月曜日から休場日が増えるのか。また、午後9時から翌日の午前6時までを記載したのは、どのような想定か。

答 休場日に変更はない。第3月曜日のみ休場としているのは、指定管理者の提案により承認している。大会、イベントによっては深夜まで、または早朝までの利用も想定されるため設定した。

ヘルシーパーク裾野利用料金の 引き上げ(健康推進課)

問 引き上げの根拠は何か。また、引き上げによる利益が出た場合の考えは。

答 過去3年間の平均利用者数をもとに、「使用料の適正化に関する基本方針」に従い行うもの。見込まれる増収分は、大規模改修などへの対応も念頭に置いて、指定管理者と協議していく。

スポーツ施設など指定管理者の 指定(生涯学習課)

問 指定管理者を選定する際の流れは。

答 選定評価委員会による第1次審査、第2次審査を経て、候補者選定をしている。

中小企業・小規模企業の振興を 目的とした条例制定(産業振興課)

問 市民の役割が具体的に示されている一方、市に対しては曖昧な表現となっているが、検討会での意見は。

答 検討会では強い表現を入れてほしいとの要望はあったが、条文の文言の議論はなかった。

問 検討にあたり、市民の代表は。

答 商工会、観光協会、青年会議所、中小企業家同友会から選出しているので、市民の方も含まれると考える。

(※3) 根固め工法とは…河床の洗掘を防ぐためのコンクリート製の床固めを設置すること。



12月定例会の審議議案と結果

全会一致の議案

議案番号	議案の内容	結果
第78号議案	条例改正) 裾野市表彰条例の一部を改正する	原案可決
第79号議案	条例改正) 人事院勧告に基づき一般職の任期付職員に支給する給料と期末手当を引き上げる	
第82号議案	条例改正) 人事院勧告に基づき一般職の職員に支給する給料と手当の額を改正する	
第83号議案	条例改正) 裾野市運動公園総合体育施設の利用時間と料金を改める	
第85号議案	条例改正) 裾野市消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する	
第86号議案	裾野市スポーツ施設などの指定管理者の指定	
第87号議案	下水道施設(本管)を長泉町に設置することについて協議する	
第88号議案	市道1375号線(公文名地内)の起点を変更する	
第90号議案	令和元年度裾野市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	
第91号議案	令和元年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2回)	
第92号議案	令和元年度裾野市介護保険特別会計補正予算(第3回)	
第93号議案	令和元年度裾野市土地取得特別会計補正予算(第1回)	
第94号議案	令和元年度裾野市水道事業会計補正予算(第2回)	
第95号議案	令和元年度裾野市下水道事業会計補正予算(第2回)	
報第5号	専決処分) 交通事故以外の事故に係る損害賠償の額の決定及び和解の報告	了承
第96号議案	条例改正) 裾野市印鑑条例の一部を改正する	原案可決

賛否が分かれた議案の概要と議員ごとの賛否内容

※賛成は○、反対は●、数字は議席番号を表しています。

※議長(土屋秀明)は同数以外、採決には加わりません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明します。

議席番号 議員名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	結果	
	土屋 主久	増田 祐二	勝又 豊	浅田 基行	勝又 利裕	村田 悠	井出 悟	岩井 良枝	中村 純也	小田 圭介	杉山 茂規	二ノ宮 善明	賀茂 博美	三富美 代子	内藤法 子	岡本和 枝	小林俊	佐野利 安		土屋秀 明
第77号議案 (修正動議)	①	②	③	欠	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	-	修正案可決 賛成：9 反対：8
第77号議案	①	②	③	欠	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	-	修正案を除く 原案可決
第80号議案	①	②	③	欠	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	-	否決 賛成：7 反対：10
第81号議案	①	②	③	欠	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	-	否決 賛成：6 反対：11
第84号議案	①	②	③	欠	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	-	原案可決 賛成：10 反対：7
第89号議案 (修正動議)	①	②	③	欠	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	-	修正案可決 賛成：16 反対：1
第89号議案	①	②	③	欠	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	-	修正案を除く 原案可決

討論

第80号議案 人事院勧告を勧案し、市議会議員に支給する期末手当の額を引き上げる条例の一部改正

行財政構造改革の集中対策期間中に、市長自らが特別職、議員の期末手当の引き上げを提案し、議会が可決することは到底考えられない。市民の疑念や、信頼感の喪失を招かないよう、誤りのない判断が必要。
井出悟議員

反対
です

賛成
です

期末手当は業績評価ではなく、社会情勢の反映であり、特別職報酬等審議会の判断からも外れている。政策や業績の評価は選挙で行われるべきもの。真に議会の意思表示をするならば、期末手当ではなく、議員報酬の減額を議員発議で上程すべき。
増田祐二議員

市職員は、労働基本権制約の代償措置として設置されている人事院勧告を尊重すべき。しかし議員の報酬・期末手当に人事院勧告を機械的に準ずる理由はない。市民の理解が得られるものであることが大切。
岡本和枝議員

行政と議会は車の両輪であり、議員が働いてこそ裾野市は良くなる。議員の活動を保障する報酬は安すぎる。将来の議会のためにも議員の待遇は改善が必要で、議会からこの議案に反対する理由はない。
小林俊議員

第81号議案 人事院勧告を勧案し、特別職に支給する期末手当の額を引き上げる条例の一部改正

現時点では、行財政構造改革の集中対策期間の必要性を、市民が十分に理解・賛同され、協働するまでには至っておらず、更なる理解・協力をいただけるよう、今まで以上に市長、議会が更なる本気度を示す必要がある。
井出悟議員

反対
です

賛成
です

特別職の期末手当は、従来から人事院勧告、景気・社会経済情勢、県内各市の状況などを総合的に判断し、見直しを実施してきた。今回は引き上げの勧告であり、適正な一定の水準を確保しようとするためのものである。
勝又利裕議員

全国では、市民に受け入れられないなどの理由から据え置く例や人事院勧告を見送る例がある中、市の経済状況・市民感情などを考え市長は見送る考えはなかったか。特別職報酬等審議会の審査対象に期末手当を含める検討が必要。
内藤法子議員

第84号議案 ヘルシーパーク裾野の利用料金の引き上げを伴う条例の一部改正

全ての市民に提供されるべき施設に過度な受益者負担は受け入れることは出来ない。当施設は市民の健康増進を目的として作られている。幅広い市民が利用する施設となるため、提供する側の課題の改善をまず図るべき。
岩井良枝議員

反対
です

賛成
です

各種施設の利用料の基本方針により、ヘルシーパークは公共性は高いが、民間との競争性も高い施設であるため、公費負担割合を30%とし、受益者負担を求めている。基本方針に沿って条例の一部を改正するものである。
三富美代子議員

無料券・敬老寿券などの削減、消費税値上げに続く急激な改正は、健康増進を目的の高齢者の市民サービス切り捨て。料金・利用区分・指定管理者との契約に検討課題があり、入館者減少、経営困難、利用者不満を招く恐れがある。
内藤法子議員

第89号議案(修正動議) 令和元年度裾野市一般会計補正予算(第4回)に対する修正案

反対討論なし

反対
です

賛成
です

第80号議案と第81号議案否決に伴い生じる不用額を予備費へ組み替えるものであり、予算をより現状に合わせる内容のもの。組み替え内容や提案理由は理解できるものであるため賛成する。
杉山茂規議員

13人が一般質問で市政を問う

くらし



浅田基行議員

問 公共施設利用料金の減免・割引制度の今後の計画は。

答 減免・割引制度や市民、市民以外の料金設定などについては、本年度内に目標の方向性を示し、目的・性質・利用状況などを研究して今後基本方針を策定する。

岡本和枝議員

問 「公の施設」使用料などの減免制度に関する基本的な考え方は。

答 各種団体（一部個人も含む）の活動支援の観点から使用料の減額や免除をしている。条例規則などで定める基準に統一性がないことから方針を定める予定である。

問 老人福祉法第3条では、老人はその知識と経験を活用して、社会的活動に参加するよう努めるものとする。高齢者の公の施設利用の料金割引制度が必要では。

答 高齢者の利用料金の割引は、料金や減免などで考えていきたい。

問 死亡の届け出に伴う手続きが、1カ所で済む「支援コーナー」設置を。

答 職員の配置、機器の設置やコーナーの場所の確保など課題があり、現時点では直ちに設置をすることは考えていない。

内藤法子議員

問 消費生活センターの取り扱う苦情の詳細は。

答 平成30年度は528件の相談で、苦情額は1億2,300万円。一人あたりの金額は122万円。そのうち90%程度の金額を解決している。

裾野市役所庁舎



賀茂博美議員

問 新廃棄物処理施設（ごみ焼却施設）の広域整備を進めるべきでは。今後の予定は。

答

現段階では明確な方向性は決まっていない。単独事業となっても事業は推進していく。単独処理の場合、令和2～5年度に予定地、施設基本計画、事業概要の確定、各種調査、都市計画決定を行う。令和6～8年度で建設工事、令和9年度から稼働予定。

安心・安全・防災



杉山茂規議員

問 自主防災会の自発的訓練を促すため、過去に他地域で実施した内容や予算情報を共有すべく、ナレッジベース（※4）を作らないか。

答

モデル地区訓練の内容を整理したものの公開などを検討していく。



問 顔の見える関係は防災力向上の基本だが、区に入っていないアパート居住者などには様々な情報が届かない。また市民意識調査では20歳代から40歳代は防災への備えが弱いとの結果がある。アパートなどに住む小中学生がいる子育て世帯の防災力向上に繋がるよう、学校で子どもに参加証明書を配布し、保護者も一緒に地域防災訓練に参加を促す呼び掛けを行っては。

答

過去に区長の手間の関係で証明書が廃止となった経緯がある。簡単にチェックできる物に変えるなど手法の一つと考え学校と研究していく。

（※4）ナレッジベースとは…知識を集めたデータベースのこと。

岩井良枝議員 問 台風19号のような災害が起きることは、想定外ではなくなってきている。今後、各区と市と連携の検討が必要と考えるが。

答 これまで事前に市と区との取り決めというものはしていなかった。今後、連携のあり方、区から市に対する情報の出し方などを改めて検討し、マニュアル化をしていきたい。

賀茂博美議員 問 台風19号の経験から避難所開設の課題は。また住民の安全に対する改善は。

答 風雨が強まってからの移動は危険であり、避難所開設のタイミングは検討の余地がある。今後、各区から情報提供のマニュアル化を検討し、地域との連携強化を図りたい。

内藤法子議員 問 災害対策本部は市役所4階の会議室だが、非常時に机や機材搬入に手間取ることから、常設の災害対策本部室が必要では。

答 ハード整備された方が安心安全に繋がるとは考えているが、訓練を通じて組織としての機能面を整えて対応している。

財政



井出悟議員 問 下水道事業の汚水処理原価と使用料単価は。

答 平成30年度の実績は、汚水処理原価は、下水道に流した汚水をきれいに処理するために必要な経費の単価で193.3円/㎡。使用料単価は、下水道使用料総額を年間有収水量で割ったもので115.4円/㎡。

問 処理原価と使用料単価の差は77.9円/㎡。つまり経費が掛かっているものを安く売るという構造を解消しない限り、本来、使用者が払うべき費用を一般会計から繰り入れ、公費で補うという構造の改善はありえない。経費回収率は59.7%となるはずだが、全国、県内、類似団体の状況など裾野市の位置づけは。

答 全国の類似団体平均は81.4%、県下の類似団体平均は62.4%。裾野市は県下の類似団体の中では回収率が悪い。

賀茂博美議員 問 市民活動支援型ガバメント・クラウドファンディング^(※5)導入の考えは。

答 市民活動支援のツールとして、研究の必要性はあると感じている。

浅田基行議員 問 行財政構造改革では、新規事業を原則禁止としているが、特例で容認という報道があった。方向性が変わった理由は。

答 市民を取り巻く状況も日々変化する中、市民が必要とする事業について、パッケージ単位でのスクラップ・アンド・ビルドの観点から必要と判断した。

教育



岩井良枝議員 問 公立の義務教育諸学校などの教職員の勤務時間を、繁忙期に1日10時間労働まで可能とし、夏休み期間中など閑散期と合わせて1日当たり8時間に収めるとしている。1年単位の変形労働時間制を地方自治体の判断により導入ができる制度改正となるようだが、当市の見解は。

答 働き方改革の課題の根本的な解決には繋がらないと考えている。したがって、教職員のためになるのか、今後の動向に注視していきたい。

小林俊議員 問 陸上競技場は市民の財産として広く使用してもらうために、メンテナンスをして保全しなければならない。公認取得は絶対必要だ。

答 重要性は理解している。日本陸連の指導を受けて、これから判断する。

土屋主久議員 問 学校給食に市内産野菜を一品でも多く使用する取り組みを始めないか。

答 市内産の利用については、安定供給が可能なら増やしたいと考えている。引き続きJAなんすんと出荷可能野菜量について調整したい。



(※5) ガバメント・クラウドファンディングとは…地方自治体がプロジェクト実行者としてインターネットを通して世の中に呼びかけ、共感した人から資金を募る仕組みのこと。

13人が一般質問で市政を問う

問 米飯給食（週3回）について、裾野市産米の利用を増やす取り組みを検討してはいかがか。

答 米飯給食に市内産の米をより多く使用することは、米の流通量という課題もあるので、担当課やJ Aなんすんとも協議し検討したいと考えている。

文化観光



小林俊議員

問 2020年は深良用水通水350周年であり記念事業が計画されているが、関係自治体（御殿場、裾野、長泉、清水町）の協力体制は。また、水門などの修繕を予定しているか。

答 協力を求めている、決定次第、公表する。芦湖水利組合として水門の維持補修で500万円を予算計上。



芦ノ湖にある深良水門

西暦1670年から、2市2町の水田を潤しています。

内藤法子議員

問 富士山すそのラリーは全国から多くの来訪者で経済効果があり観光振興に役立った。今後の支援は。

答 マスメディアに取り上げられ裾野市をPRできた。3回の開催で、経済効果は計7,560万円。産業部を窓口で大会運営を支援していく。

組織体制



土屋圭久議員

問 人事評価は、昇給や昇格などに適切に反映されているか。

答 令和元年6月からは、全職員の人事評価結果を勤勉手当に反映することとした。今後、より一層の職員のモチベーション向上、組織全体の公務能力の向上につなげていくため、評価結果について昇給や昇格など、制度とし

での運用を検討していきたい。

増田祐一議員

問 地域の協働の担い手の主力である婦人会やシニアクラブ、子ども会といった地縁型組織や団体の継続に対して、能動的に関わるべきと考えるが、行政の考えは。

答 現時点では明言できないが、市も市民活動センターも能動的に関わることが求められるのではないかと考える。市民協働によるまちづくり推進計画の見直し時に将来に向けたものとした。



地域における協働活動

市民協働で行っている市営基地の花植え

まちづくり



増田祐一議員

問 これまで質問してきた「深良ワークショップで地域が考えたまちづくり構想」「東名裾野I.C.周辺の交流拠点としての環境整備」を通して、市の現状と未来をどのように考えているか。

答 深良地域については法規制を踏まえ事業化の可能性、手法について研究中で、裾野I.C.周辺宿泊施設の整備も検討に値する。現在関係部署で協議や調査研究の段階である。

村田悠議員

問 一般財源で今後30億円、補助金などを含め220億円近くの予算を拠出する駅西区画整理事業。「補助金等に係る予算執行適正化に関する法律」第10条の客観的事情変化の適用により補助金を返還せず区画整理事業を縮小・中止した自治体がある。当市も財政が厳しい。駅西土地区画整理事業は元々が事業計画期間に完了しなかった事業であり今後延長する可能性が十分ある。さらに一般財源の充当額が増加する可能性すらある。行財政構造改革期間で、多くの市民サービスが削減される中、中止も含め

てこの事業に関してはいくつか想定パターンをリスクマネジメントの観点からも考えるべきでは。

答 駅西土地区画整理事業を中止することは考えていない。したがって、事業中止に伴う補助金の返還なども想定していない。

医療



勝又豊議員

問 自己チェックで筋力低下を知る指輪っかテストや、栄養・運動・社会性に関する11項目のチェックからフレイル^(※6)の兆候を知るイレブンチェックなどのフレイル予防を、介護予防に取り入れる考えは。

答 自分の事を知るといのは非常に大事であり、手軽なセルフチェックは高齢者の予防意識向上に期待ができ、手法を研究していく。



手軽なセルフチェックにより、健康寿命を延ばそう。

問 介護予防と保険事業は、予防健康づくりのために、高齢者を中心に一体的に取り組む必要があるのでは。

答 一体的実施について、後期高齢者医療保険の保険者である静岡県広域連合において、令和2年2月から3月にかけて、広域計画を策定する予定のため、市としては当該計画に沿って施策を展開していきたい。

オリパラ



小林俊議員

問 オリンピック・パラリンピック外国チーム事前合宿地に手を挙げるべき。

答 ホストタウン立候補はしていないが、県から相談があればできる限りやっていく。

浅田基行議員

問 東京2020オリンピック自転車競技男子ロードレースにむけての今後の計画は。

答 観戦場所を3カ所設置予定。また、アクセス方法はコース近くの駐車場借用やバスによるパーク・アンド・ライドを導入する予定。



富士山チャレンジライド2019 in 御殿場・裾野

須山地区研修センターを通過するプロレーサー

産業



勝又利裕議員

問 工場立地適地調査も済み候補地を選定しており、企業誘致を進めていくうえで、県内市町に先駆けて緩和した工場立地法に規定する緑地面積率基準の更なる緩和はいかがか。

答 県内で最も低く緑地面積率の基準を設定している富士宮市を参考に、令和2年3月議会に条例改正を提案できるよう進めていく。

その他

勝又利裕議員

問 裾野市運動公園野球場を中心としたスポーツツーリズムを進めていくためには、施設の充実が欠かせず、開場以来20年が経過し、ラバーフェンス、人工芝などの劣化が目立つ野球場を大規模改修する考えは。

答 野球場と陸上競技場の大規模改修を一体で進めるべく取り組んでおり、今後、設計作業に取り組んでいく。

(※6) フレイルとは…年齢とともに心身の活力が低下し、要介護状態となるリスクが高くなった状態のこと。

行政視察報告

(産業建設委員会)

令和元年10月16日(水) 福井県鯖江市 「オープンデータとデータ利活用」

鯖江市はITを「メガネ、繊維、漆器」に続く「第4の産業に育てる」という方針のもと、「データシティ鯖江」を掲げ、駅や公民館に公衆無線LANを整備し、行政データを公開する取り組みを2010年よりスタートさせ、オープンデータ化を進めている。

オープンデータは市が目指す「市民協働のまちづくり」の一環で、市が公開したデータを活用し、民間がアプリを開発、市はコストをかけずに住民サービスを向上させることができると期待している。市がこれまでに公開したデータは「公衆トイレ情報」「AED情報」「道路工事情報」などおよそ200種類となっている。

当市でも、官民協働でオープンデータ基礎データを相互活用できる仕組みの早期実現に取り組み、住民サービスの質の向上に資すべきと感じた。



令和元年10月17日(木) 石川県輪島市 「次世代交通対策事業」

次世代交通対策事業「WA-MOが結ぶ人と街」の取り組みは、輪島市(自治体)でなく、輪島商工会議所が取り組む事業である。市の「公共交通網形成計画」に分類・計上されている公共交通とは一線を画しており、現在「実証実験」という段階での取り組みが続いている。電動カートによる電磁誘導線を用いた自動運転レベル2を経て、最終的には完全自動運転(レベル4)の導入を目指し実証実験を続けている。視察中に買い物中の高齢者や、幼児を抱いた母親などが利用しており、市民の日常の足として次世代交通が徐々に浸透していることが伺えた。

当市においても、今後さらに発達することが見込まれる自動運転技術を交通手段へ活用する事で、市民の移動の利便性を高める取り組みを検討すべきと考える。



令和元年10月18日(金) 静岡県東京事務所 (ふじのくに大使館) 「企業誘致について」

静岡県は、新東名などインフラ整備により人気向上しているが、工場用地の販売物件がないのが現状。首都圏の企業からの立地の引き合いは、県内でも東部地域に対する問い合わせが多く、「できれば東部で」というニーズが高い。

当市も、工場立地適地調査を済ませ、候補地も選定しているため、さらに企業誘致に対して迅速かつ柔軟に対応できる体制を整え、企業ニーズの収集と対応に全力を尽くす必要がある。

議員研修会

議会では定期的に全議員参加の議員研修会を開催しています。

令和元年10月11日 裾野市議会議員研修会

●テーマ 「総合計画策定に向けた議会としての留意点」

●講師 北海道大学法学研究科・公共政策大学院教授 宮脇 淳 氏

総合計画策定時の議会の留意点として、策定前に市執行部の基本姿勢を確認、議会の議決の意味、長期的視野で実効性をいかに担保するか、見える化の確認、予算編成や評価との明確な関連性などの内容を学んだ。

現在策定中の第5次総合計画が、これからの裾野をより良くするものであるよう、議会としてしっかり関わっていく必要がある。



令和元年11月6日 2市1町議員研修会



●テーマ 「地方分権時代の自治体議会のあり方」

●講師 明治大学政治経済学部教授 牛山 久仁彦 氏

裾野市、御殿場市、小山町の議会合同で、地方分権の成果と自治体をめぐる環境変化、自治体議会の現状、議会改革の論点、報酬と定数をめぐる状況、議会改革と住民参加、自治体議会の危機管理と広域連携、人口減少社会と地方創生、分権で問われる自治体議会の役割などを学んだ。

地方分権が進む中で、議会がその本来の役割を果たすためには議会として機能できる体制づくりが求められている。

令和元年12月13日 裾野市議会議員研修会

●テーマ 「共創参画型シティプロモーションの異議」

●講師 東海大学文化社会学部 広報メディア学科教授 河井 孝仁 氏

シティプロモーションについて、「なぜやるか」「なにをやるか」「どうやるのか」を学んだ。地域への参画意欲という目に見えないものを見る化する「修正地域参画総量(mGAP)」の考え方と合わせて、先進事例を通して、「地域魅力創造サイクル」＝「共創参画向上サイクル」という仕組みも学んだ。地域(まち)に真剣(マジ)になる人材が増える裾野市であるよう議会も考えていく必要がある。



令和元年12月5日 裾野西中学校での公民授業参加



裾野西中学校の3年生が総合的な学習の時間に取り組んだ「裾野市への提言」を生かした公民の授業への参加と助言の要請を受け、議会として当局とともに授業参加。

自ら課題に気づき、解決のための提言まで結びつけた生徒と、政策を通じた意見交換は非常に有意義な時間となった。



傍聴ありがとうございました

12月定例会は、**156人**の方が傍聴されました。
ご意見は28件いただきましたが、その一部を紹介します。

一般質問時の一括質問方式は、質問内容を掘り下げている段階で論点が絞りにくいように思います。一問一答方式で進めていった方がわかりやすいのではないのでしょうか。いくつかの質問を束ねることで全体像を浮かび上がらせることができることもあるとは思いますが、「しっかり質す」という意味では一問一答方式の方が良いように思います。 60代・男性



行財政構造改革では市での計画が進んでいないこと、内容があまり明確になっていないことにとっても残念と感じました。 40代・男性



市とのやりとり、興味が湧きました。オリンピックに向けていろいろ頑張っている様子がわかり、おもしろかったです。自転車（オリンピック）がもっと盛り上がってほしいです。 50代・女性



静岡新聞コラム「清流」にも掲載されていた議会のネット中継について、ぜひ、前向きに検討していただきたい。近隣市ではすでに実行済みです。 50代・男性



裾野市に住んで良かったと思える施策はどうか。周辺自治体より誇れる自治体であって欲しい、との期待から委員会を含めて傍聴しました。賛否両論があることは大きな前進だと感じました。市民による議員・議会チェックには傍聴をおすすめします。 60代・男性



皆さまから頂戴した貴重なご意見は
議会活動に活かしてまいります。



議会傍聴にお越しく下さい

市役所5階の議会事務局受付へお越しく下さい。
受付簿に、住所と氏名をご記入いただくだけで傍聴できます。
審議や他の傍聴者の妨げにならない範囲で、会議開始後の入場や途中退席をすることもできます。
議場での傍聴のほか、市役所1階ロビーのモニターでも、本会議の様子をご覧いただけます。

令和2年3月定例会(予定) ※予定は変更する可能性があります。

2月14日	金	本会議	10:00～	3月2日	月	予算決算委員会	13:30～
2月17日	月	本会議	10:00～	3月4日	水	本会議	10:00～
		予算決算委員会	本会議終了後	3月5日	木	予算決算委員会	9:00～
2月18日	火	予算決算委員会 (総務分科会) 総務委員会	9:00～	3月6日	金	予算決算委員会 (厚生文教分科会)	9:00～
		予算決算委員会 (厚生文教分科会) 厚生文教委員会	9:00～	3月9日	月		
2月20日	木	予算決算委員会 (産業建設分科会) 産業建設委員会	9:00～	3月10日	火	予算決算委員会 (産業建設分科会)	9:00～
		予算決算委員会 (産業建設分科会) 産業建設委員会	9:00～	3月11日	水		
2月21日	金	予算決算委員会 (現地視察)	13:30～	3月12日	木	本会議(一般質問)	10:00～
		予算決算委員会 (総務分科会)	9:00～	3月13日	金		
2月25日	火			3月16日	月		
2月26日	水			3月17日	火		
2月27日	木			3月18日	水	予算決算委員会	本会議終了後
2月28日	金			3月23日	月	本会議	10:00～

編集委員

- 委員長…………… 土屋 主久
- 副委員長…………… 増田 祐二
- 委員…………… 二ノ宮善明
勝又 利裕
勝又 豊
浅田 基行

議会をチェック!!

裾野市議会



議会だよりそのでは、できるだけ多くの人が「見やすく、読みやすい」よう細かく配慮されたUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。

発行●裾野市議会 静岡県裾野市佐野1059
Eメール●gikai@city.susono.shizuoka.jp

編集●議会だより編集委員会 ☎055-995-1839(直通)
印刷●ナポー株式会社